

5学年 理科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

(1) 物の溶け方、振り子の運動、電磁石の変化や働きをそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して、物の変化の規則性についての見方や考え方を養う。

(2) 植物の発芽から結実までの過程、動物の発生や成長、流水の様子、天気の変化を条件、時間、水量、自然災害などに目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性、流水の働き、気象現象の規則性についての見方や考え方を養う。

◆ 評価の観点

・ 自然の事物・現実を意欲的に追究し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。

・ 自然事物・現象の変化とその要因との関係に問題を見だし、条件に着目して計画的に追究し、量的変化や時間的変化について考察し表現して、問題を解決している。

・ 問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に記録している。

・ 物の溶け方、振り子の運動の規則性、電流の働きや、生命の連続性、流水の働き、気象現象の規則性などについて実感を伴って理解している。

◆ 評価の方法

学習態度 発表 ノート テスト

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	○ 発芽と成長	・ 種子の発芽や種子のつくり、養分について調べる。
	○ メダカのたんじょう	・ メダカを育て、雌雄の体の形や卵の中の様子を観察し、魚の卵の中の変化やふ化の様子を調べる。
	○ ふりこ	・ 振り子が1往復する時間は、振り子の長さによって変わることを捉える。
	○ 花から実へ	・ ヘチマやアサガオの花について観察し、花のつくりの特徴に気づく。
	○ 天気の変化	・ 気象情報を活用して天気の変化を調べ、天気の規則性をとらえる。
後期	○ 流れる水のはたらき	・ 流れる水には土や石などを削ったり、流したり、積もらせたりする働きがあることを観察する。
	○ 電流が生み出す力	・ 電流の流れているコイルは、鉄心を磁化するはたらきがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極が変わることを知る。
	○ 人の誕生	・ ヒトが誕生するまでについて資料などで調べる。
	○ もののとけ方	・ ものが水に溶ける量には規則性があることをとらえ、溶けているものを取り出す。